

## ◆先輩からのアドバイス◆

### 附属図書館は大学一の『宝の山』だ!!!

#### ●宝がゴロゴロ・・・

琉球大学附属図書館には、大学という一つの研究機関の施設であるから、各学問各分野の専門書がとてつもなく多い。その量は、沖縄県の本屋の中で最大規模を誇る『ジュンク堂』にすら置いていない本もここにはずらりと並んでいるほどだ。その中には絶版になってしまった伝説の専門書も眠っている。

こういった意味で、附属図書館には知識と情報という『宝』がゴロゴロと学生の皆様に開かれるのを待っている。

#### ●タダで宝箱を開けてタダで中身を見る

いわゆる専門書というのは、専門性が高くなればなるほど高価なものになっていき、本屋などで買うと数千円～1万円以上するものもある（まさに宝!）。また、皆さんの中には、専門外でも少し興味をもっている分野がある人もいるだろう。その際に、興味があるからといって上記のお金を払って購入したにもかかわらず、専門的すぎて全く読み進めることができなかつた、などということがあってはもったいないと思うかもしれない。

一度図書館に足を踏み入れれば、そういった専門書等がタダで開けるのだ。たとえ興味がなくても本棚の前に立つことで、気になる表題の本が見つかるかもしれない。その時は近くの椅子に腰掛けて、パラパラとでもじっくりとでもページをめくれば良い。最終的に読み込みたいと思ったならば、期間限定ではあるが、その『宝箱』を家に持ち帰ってじっくり眺めることもできる。ここまで言えば図書館を利用しない手はないだろう。

#### ●最後に

学部生でも4年間もの間、決して安くはない学費を払いながら、ここ琉球大学に籍をおいているのだから、一度は目の前の宝箱を開けてみて、学生生活を有意義にかつお得に過ごしていただければと思う。

(理工学研究科 数理科学専攻 M1)